

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式  
調査時点 令和5年9月1日発送  
令和5年9月15日回答期限  
調査対象 信用保証利用先3,000企業  
有効回答数 356 企業(回答率 11.9%)

※ 当期: R05年7月～9月実績見込  
次期: R05年10月～12月期予測

### 【DI値について】

- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

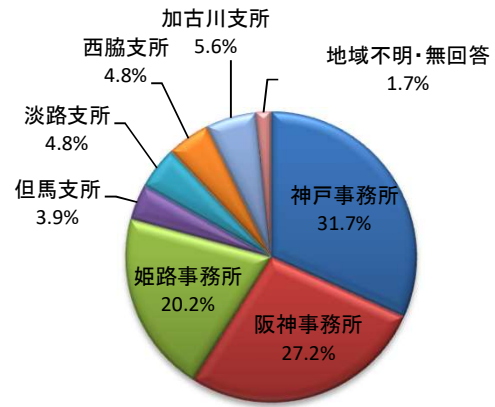
兵庫県信用保証協会



## I. 貴社の概要について

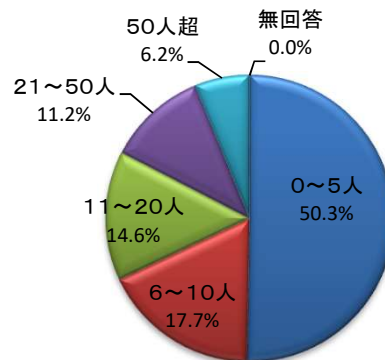
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	113	31.7%
阪神事務所	97	27.2%
姫路事務所	72	20.2%
但馬支所	14	3.9%
淡路支所	17	4.8%
西脇支所	17	4.8%
加古川支所	20	5.6%
地域不明・無回答	6	1.7%
合計	356	100.0%



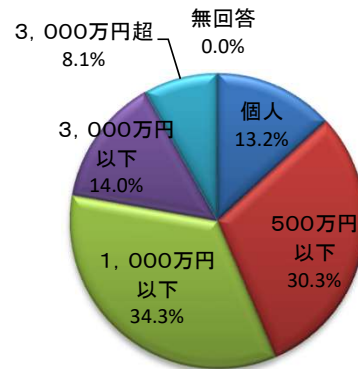
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	179	50.3%
6～10人	63	17.7%
11～20人	52	14.6%
21～50人	40	11.2%
50人超	22	6.2%
無回答	0	0.0%
合計	356	100.0%



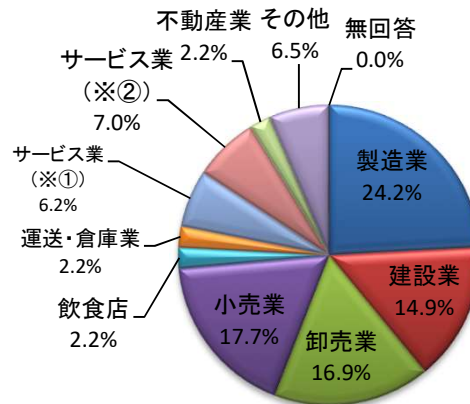
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	47	13.2%
500万円以下	108	30.3%
1,000万円以下	122	34.3%
3,000万円以下	50	14.0%
3,000万円超	29	8.1%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	86	24.2%
建設業	53	14.9%
卸売業	60	16.9%
小売業	63	17.7%
飲食店	8	2.2%
運送・倉庫業	8	2.2%
サービス業(※①)	22	6.2%
サービス業(※②)	25	7.0%
不動産業	8	2.2%
その他	23	6.5%
無回答	0	0.0%
合計	356	100.0%



※① 事業者を対象

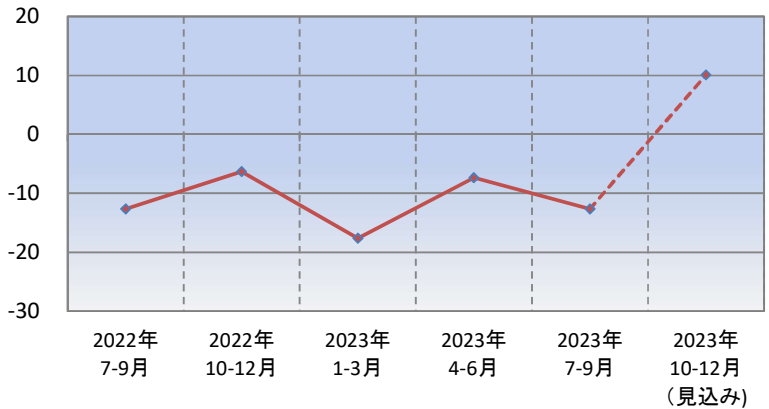
※② 一般消費者を対象

**Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。**

- (1) 当期(23年7~9月期)は、前期(23年4~6月期)に比べてどのような状況ですか。
- (2) 次期(23年10~12月期)は、当期(23年7~9月期)に比べてどう思いますか。

**【生産・売上】**

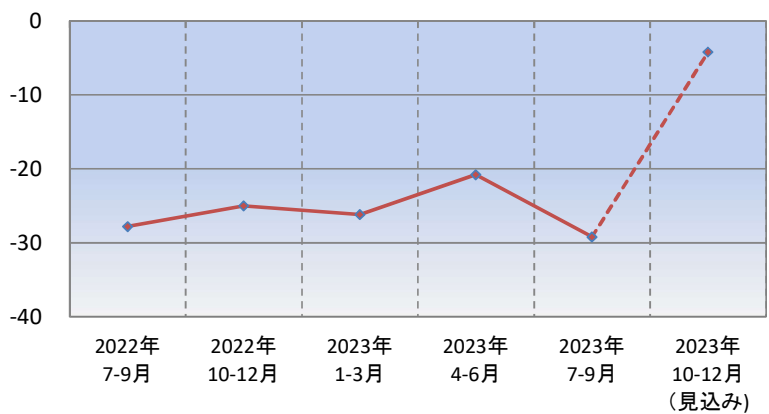
当期		
選択肢	回答数	構成比
増加した	89	25.0%
変わらない	133	37.4%
減少した	134	37.6%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%
次期		
選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	128	36.0%
変わらないと思う	136	38.2%
減少すると思う	92	25.8%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)										
調査時期(実績)	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月	2022年4~6月	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月	2023年4~6月	2023年7~9月	2023年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 34.2	▲ 20.4	▲ 38.8	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	10.1

**【採算】**

当期		
選択肢	回答数	構成比
好転した	45	12.6%
変わらない	162	45.5%
悪化した	149	41.9%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%
次期		
選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	86	24.2%
変わらないと思う	169	47.5%
悪化すると思う	101	28.4%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



採算DI(好転-悪化)										
調査時期(実績)	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月	2022年4~6月	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月	2023年4~6月	2023年7~9月	2023年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 36.2	▲ 27.8	▲ 45.4	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 4.2

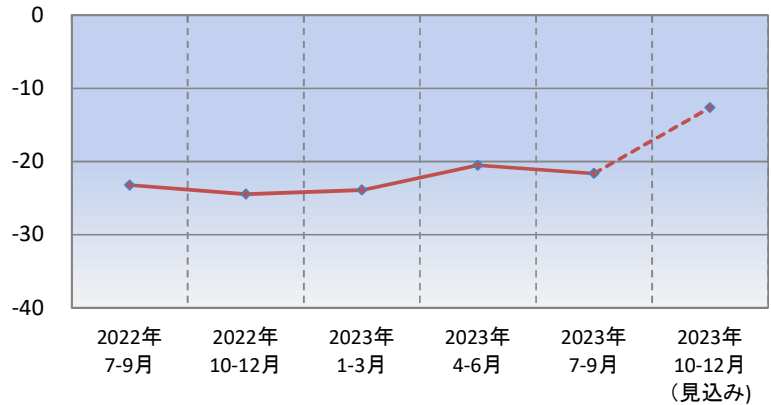
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	32	9.0%
変わらない	215	60.4%
悪化した	109	30.6%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	48	13.5%
変わらないと思う	215	60.4%
悪化すると思う	93	26.1%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月 (見込み)
兵庫県	▲ 25.0	▲ 20.4	▲ 32.8	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 12.6

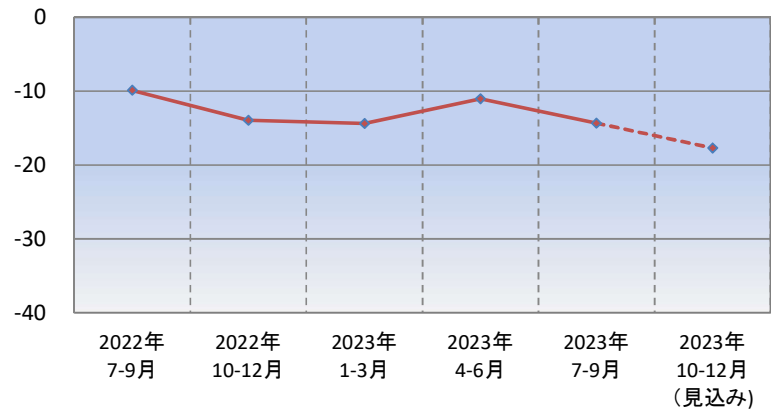
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	18	5.1%
変わらない	269	75.6%
難しくなった	69	19.4%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	26	7.3%
変わらないと思う	241	67.7%
難しくなると思う	89	25.0%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

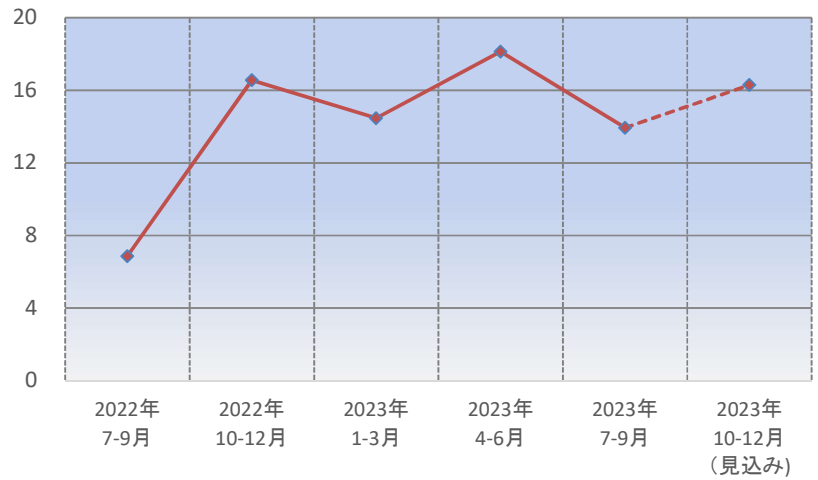
調査時期 (実績)	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月 (見込み)
兵庫県	▲ 14.1	▲ 11.1	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 17.7

当期(7-9月)のDI値については、前期(4-6月)に比べ、全ての項目において悪化しました。次期(10-12月)のDI値については、当期(7-9月)に比べ、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	84	23.6%
変わらないと思う	246	69.1%
弱まると思う	26	7.3%
無回答	0	0.0%
総計	356	100.0%



信用保証付要請DI (強まる-弱まる)

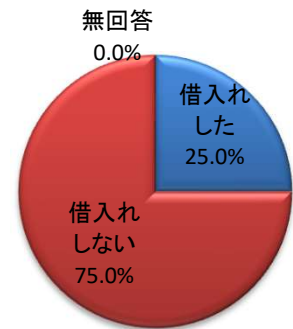
調査時期 (見込み)	2021年 4~6月 (7~9月)	2021年 7~9月 (10~12月)	2021年 10~12月 (1~3月)	2022年 1~3月 (4~6月)	2022年 4~6月 (7~9月)	2022年 7~9月 (10~12月)	2022年 10~12月 (1~3月)	2023年 1~3月 (4~6月)	2023年 4~6月 (7~9月)	2023年 7~9月 (10~12月)
兵庫県	3.6	1.8	3.9	4.4	6.9	16.6	14.5	18.1	13.9	16.3

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を大幅に上回っています。

### Ⅲ.当期(23年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
※手形の割引は含めません

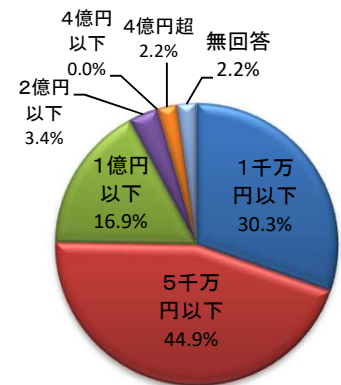
選択肢	23年7～9月期		23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	89	25.0%	20.3%	16.9%	22.9%	24.6%
借入れしない	267	75.0%	79.7%	83.1%	77.1%	75.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	356	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、4.7ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

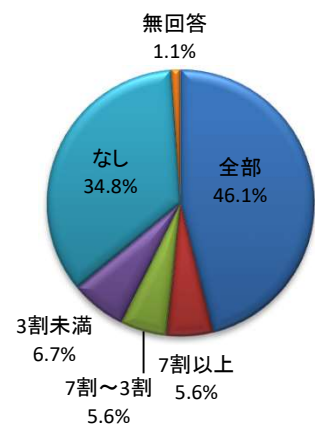
借入れ総額	23年7～9月期		23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	27	30.3%	37.3%	35.8%	35.6%	35.5%
5千万円以下	40	44.9%	37.3%	43.3%	42.5%	44.9%
1億円以下	15	16.9%	16.9%	9.0%	9.2%	14.0%
2億円以下	3	3.4%	2.4%	10.4%	4.6%	3.7%
4億円以下	0	0.0%	3.6%	0.0%	4.6%	1.9%
4億円超	2	2.2%	1.2%	1.5%	3.4%	0.0%
無回答	2	2.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	89	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が75.2%となり、構成比の大半を占めています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

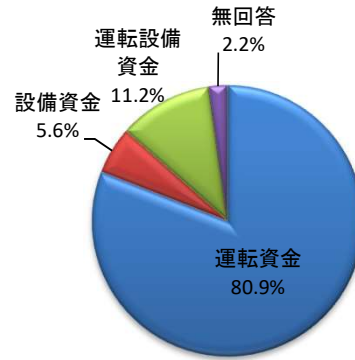
選択肢	23年7～9月期		23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	41	46.1%	36.1%	46.3%	36.8%	32.7%
7割以上	5	5.6%	4.8%	7.5%	11.5%	3.7%
7割～3割	5	5.6%	13.3%	7.5%	11.5%	15.0%
3割未満	6	6.7%	6.0%	6.0%	9.2%	7.5%
なし	31	34.8%	39.8%	32.8%	31.0%	41.1%
無回答	1	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	89	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が最も多く、約半分を占めています。

当期借入金の目的は何ですか。

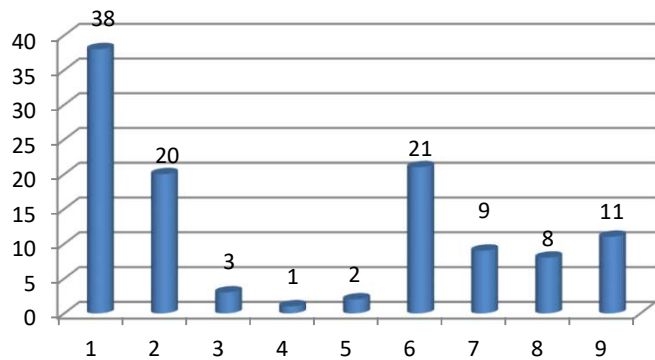
選択肢	回答数	構成比
運転資金	72	80.9%
設備資金	5	5.6%
運転設備資金	10	11.2%
無回答	2	2.2%
総計	89	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

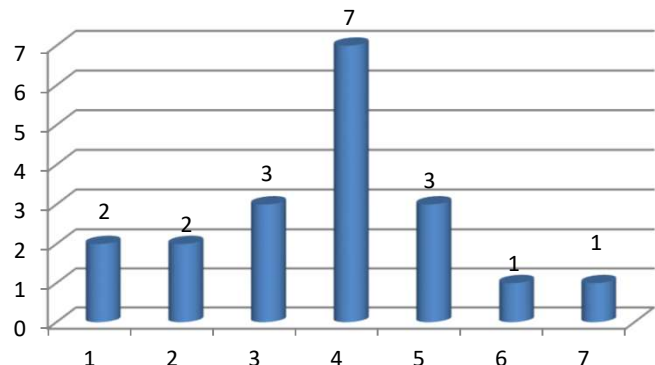
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	38
2 売上減少・赤字補填	20
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	1
5 回収条件悪化対応	2
6 売上増加運転資金	21
7 在庫積み増し	9
8 季節運転資金	8
9 その他	11
総計	113



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

選択肢	回答数
1 新規事業	2
2 生産増強	2
3 合理化・効率化	3
4 設備老朽化に伴う入替	7
5 修理・修繕	3
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	1
総計	19

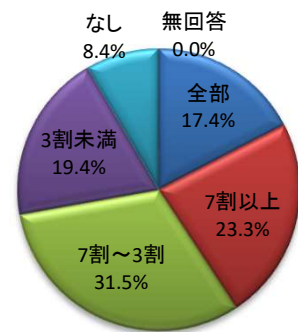


設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が一番多く、次いで「合理化・効率化」「修理・修繕」となっています。



IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(23年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

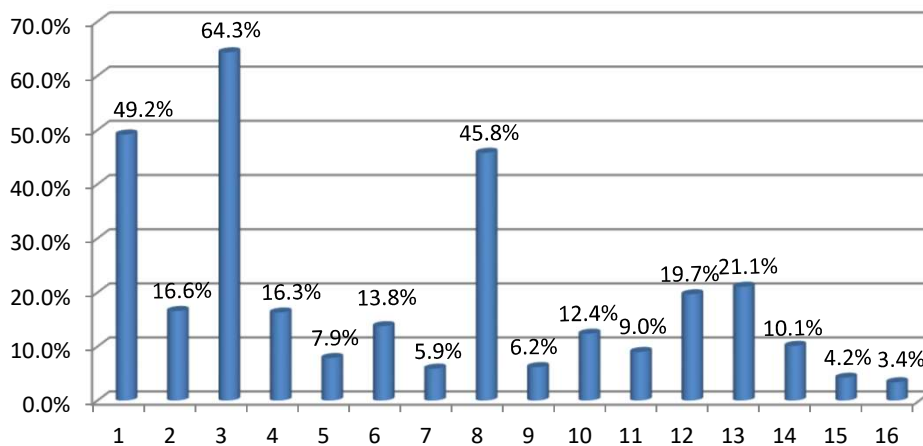
選択肢	23年7～9月期		23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期	22年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	62	17.4%	16.6%	17.1%	15.8%	17.5%
7割以上	83	23.3%	18.6%	19.6%	21.6%	23.0%
7割～3割	112	31.5%	34.7%	31.7%	32.6%	31.7%
3割未満	69	19.4%	20.5%	24.2%	19.5%	20.0%
なし	30	8.4%	9.5%	7.3%	10.5%	7.8%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	356	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」とする回答が増加し、「7～3割」「3割未満」「なし」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	175	49.2%	9 過剰在庫	22	6.2%
2 競争激化	59	16.6%	10 設備投資	44	12.4%
3 コスト高	229	64.3%	11 後継者難	32	9.0%
4 業界構造変化	58	16.3%	12 資金調達	70	19.7%
5 取引条件の悪化	28	7.9%	13 借入過多	75	21.1%
6 消費者ニーズの多様化	49	13.8%	14 為替	36	10.1%
7 技術・商品開発	21	5.9%	15 海外景気の減速	15	4.2%
8 人材・労働力の確保	163	45.8%	16 その他	12	3.4%



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が上位となっています。次いで、「借入過多」「資金調達」「競争激化」となっています。

